

萎びてしまった果実のような、薔薇の花束のような、心象風景に、小刃で裂け目を入れる。甦る、長い時間と距離を透視する。反転させつつ、交叉させつつ、焦らずに、急がずに呼び戻す。壁面に整然と並ぶ、額に入れられた絵がある。一つの絵を見る。

義妹が忘れ物をしたので、名倉小学校へとどこけに行く。あの頃は、名倉の辺りは、田園都市で、田畑の畦道を歩きながら、長閑な気分、作物を見たり、小川を泳ぐ小魚を手で掬ったり、虫や蝶の飛ぶのを眺めたりして、名倉小学校に着く。校門に入って、教室を探すのに、校舎を見渡していると、蒲鉾型校舎から、ぼつんと離れたところに建っている、木造の平屋建の教室の扉が開いて、瘦せた長身の若いエキゾチックな風貌の先生が出て来られた。若い先生は、少し足を引き摺るようにして校庭を歩いて、近付いて来られた。

先生が笑顔で会釈をされた。その時、義妹が校舎から飛び出して来た。

□れんさいエッセイ

《午後の出会い》④

バベルの塔

丸本 明子〈詩人〉

絵／中西 勝〈画家〉

「いつも、妹が世話になりました、ありがとうございます」といって、

「私は、御主人と同じグループにいます」といわれて、校門から出て行かれた。

あの時の、校庭の、貝原六一先生は、真昼の太陽の照り返す中で、優しいイメージがあった。それは、貝原六一先生の、悲しげに佇む人物画と重なって、今も、目の中に焼きつけられている。戦地で負傷されて、復員され教職につかれたとのこ

とである。

貝原六一、上西良一、中西勝、神吉定、正延正俊、藤原向意、若林和男、西村功、西村元三郎、高田卓也、品川祐治郎、赤羽恒男、丸本耕の方々、戦後の神戸で「バベルの会」に参加、結果して、絵画の作家活動をされた。絵画の教職に就かれています。方々が中心メンバーのようだった。

「Babel」バベルの塔、Babylonで天まで築こうとした塔、騒乱の場所、天罰で工人のことばが互いに通じなくなつて完成しなかつた塔のこと、つまり、「Babel」とは意識の中の構築であり、イメージの積み重ねと、崩壊である。

「バベルの会」には、戦後の崩壊の中から、立ち上り、積み上げていくとする、若かつた画家達の熱い思いがあつたのだと思う。

神戸の会場で、戦後十年前後に、活発な作家活動の展覧会を開催されたとのこと。

現在も、画壇の第一線で活躍しておられる。

前衛画家集団として、前衛的な作家活動の母体の役目を果たして来られたと思う。

長男、出産のために、大阪の里の家に帰っていた。まだ若かつた母親は、初孫の出産のことで、産婦の私よりも、落ち着かない様子であつた。私も、二十一歳で、あまりにも若かつた。出産といつても、どんな事態になるのか、どんなことが起るのかわからなかつた。出産に対する知識は零に近かつた。あの頃は、大抵の出産は、産婆の世話になつた。

お腹の皮が裂けそうになる。母は風呂へ入れという。産婆は来たけれど、まだ早いと帰っていく。産むとは、なんと大変なことだと、産みの苦しみ

を体験する。

庭の満開の躑躅の深い紅色の花の色に心を寄せていた。父が建てた家は十五年近く経っていた。庭の木も成長して大きくなつてた。九歳年下の弟の生れた時を思い出していた。その時も、同じ座敷の、同じ場所で新しい命が生れた。私は新しい命が生れるのを待つ。

夫、耕も、新しい命のために、張り切っていた。復員してきて、知人の紹介で就職した運送会社を止めて、六甲駅前で、喫茶店を開店するという。夫は、結婚二年前、シベリア抑留から、舞鶴に復員兵として帰還した。

武蔵野美大（旧帝国美術）在学の時、学徒出陣で、博多から、朝鮮、上海へと行ったとのこと。手許に送られて来た本がある。――第十一期甲種幹部候補生の手記―『石門幹候隊』の「まえがき」に笹島恒輔氏が書かれている。

「世間では一般に「学徒出陣」というと、昭和十六年以降の大学、高専の繰り上げ卒業による入隊者と、十八年十二月以降の学生の徴兵猶予の停止による入隊者を指しているが、本来は、昭和十八年九月二十三日の「在学徴集延期臨時特例」によって徴兵猶予停止された陸海軍に入隊した、大正九年四月一日から大正十二年十一月三〇日生まれ約十三万の文科系の学生を言うのである。

学徒出陣者の大半は、陸軍では甲種幹部候補生、海軍では予備学生の課程を経て下級将校となり、多くの者が戦場に散っていったのであった。……

片山敬三氏の「石門からシベリア抑留まで」の手記を読む。この手記によって、丸本耕の足跡を知ることが出来た。

□随想□ 私と神戸

都市格のある神戸を

吉本 晴彦／株式会社大阪マルビル取締役社長／ 絵／灘本 唯人

私が神戸との関わりでまず思い出すのが、日本青年会議所の近畿地区協議会長として、神戸JIC（青年会議所）設立のお手伝いをしたことです。

神戸JIC初代理事長となられる秋田博正氏に設立の願いをしたのですが、神戸は業界の団体が多しなど設立するには厳しい条件下にあり、なかなか引き受けて頂けなかったのです。ではメンバーは私が集めますから、ということをやっと重い腰を上げていただき熱心に準備を始めて下さいました。今や神戸JICの活躍ぶりは皆さんのご存じの通りです。私は当時、神戸JICと共に尼崎JIC、奈良JIC設立のお手伝いもしたのですが、神戸の設立に一番苦労しました。それだけにとても思い出深く、今でも歴代の理事長・副理事長の方々と年二回開かれる「楽々会」を通じて楽しくおつき合ひさせていただいています。

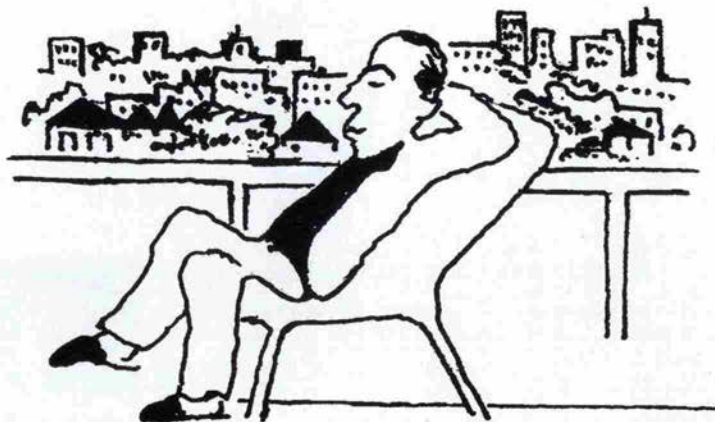
ところで、私は代々の大阪人で、戦後までは大阪に住んでいましたが、なぜか阪急沿線、特に西宮・神戸間が肌に合うというか居心地が良く、今は東灘区に居を構えています。山と海、澄みきつ

た空気、ハイカラな気分。こんな神戸の街が私に安らぎを感じさせてくれます。ですから、私にとって神戸は、週末・休日時の息抜きの場、家族団欒の場であると言えます。

休日にはよく三宮・元町界隈に出かけます。一、二時間かけてブラブラと散歩しながらウインド・ショッピングをしたり、知っている店や関心のある店をのぞいたり、あるいは食事をしたりして楽しんでいくわけです。

ただ最近残念なのは、以前はたくさんあった特色のある店やユニークな店主のいる店が少なくなってきたことと、日曜日でもやっている食事をするお店がなくなってきたということと、とても淋しく思っています。

神戸で好きなものの一つに「神戸まつり」があります。大阪には「御堂筋パレード」がありますが、私は「神戸まつり」のほうが好きだけでなく、いつも感心させられています。その理由は、この祭りが、自発的に盛りやがってやっているという感じがするからです。みんな協力してヨイショし



ようとする雰囲気があります。そして実際ユニークなものを作り出しています。それに対して大阪人というのは、商売については一生懸命するが、草の根の文化を育てようとするところがありません。神戸には程よい人口、地の利の良さといった条件的に恵まれた面もありますが、なによりも神戸を愛する市民の方が多いということが、そのような雰囲気を生む大きな要因になっている気がします。これは何も市民レベルの話だけではありません。行政レベルでも「株式会社神戸市」といわれるぐ

らい様々な分野で力を発揮していますし、神戸らしきを出そうという意欲・やる気も強く感じられ、前々より羨ましく思っていました。

それにしても、このような神戸がどうして出来たのかというのを考えてみますと、歴史が浅いとか山や海があるといった、神戸独特の雰囲気のなかから生まれてきたものではないかという気がしています。そういう意味では、神戸には、大阪、京都にないものをたくさんもっているといえるのではないのでしょうか。

大阪商工会議所の大西会頭が「都市格」の向上ということを提案しましたが、これは魅力ある都市を考える上で大切な視点だと思っています。京都、大阪、神戸の三つの都市を比べて見ますと、神戸は経済力や人口の面では劣るものの活力があります。しかし一方で海岸の良さがなくなるなど、大阪にはない自然の資源が失われてきています。都市格というのは市民が考え、創り上げ、向上させていくものですが、神戸には、山や海といった資源も含めた、京都にも大阪にもないもの、神戸独自の都市格を創ってもらいたいと切に願っています。

いずれにしても、大阪で仕事をし、京都で遊び、神戸に住んでいる私は、一般的な関西人の願望を実現させて頂いており、大変な幸せ者だと思っております。



△吉本晴彦氏のプロフィールV

大阪のシンボルとなった「大阪マルビル」のオーナーであり「大日本どけち教」の教祖。大阪商工会議所常議員を始め各種要職を務めるかわら、マスコミや講演でも活躍。昨春秋には二十冊目の著作となる「どけち学」を出版した。

Coffee Break



★94神戸まつりの実行委員長に杉山力子さんが

94神戸まつりは、5月13日(金)14日(土)15日(日)、「緑と海そして愛」をテーマに開催される。

今年は実行委員長が妹尾美智子さんから杉山力子さんにバトンタッチされた。杉山さんは神戸市婦人団体協議会理事、垂水区連合婦人会会長として活躍する明るくさわやかなミセス。



杉山力子さん

わたり実行委員長を務め、まつりを盛り上げてきた。昨年はアーバンリゾートフエア神戸93の文化事業部長としての重責も果たした。ご苦労様と、市民からの感謝の意を表した。妹尾さんの後を受けた杉山新委員長の新たなウーマンパワーが頼もしい。

★ドイツの心を伝えていきたい
「ドイツの方々から辛抱強

さというものを、学びました」と語る東勝美さんは、1979年、在日ドイツ商工会議所大阪事務所の開設に伴い職員として勤務して以来15年、片道2時間の通勤時間をものともせず日々勤め、日独の経済交流の促進に努めてきた。その功績に対し、1月24日、総領事館において、ヴァイツェツカー大統領に代わり、グルーベル総領事より、ドイツ連邦共和国功労勲章功労メダルが授与された。



東勝美さん

東さんは同事務所の所長代理として、日常の多種多様な業務の他見本市や展示会でのドイツ製品の紹介や販売を企画するなど、その真剣な取り組みはドイツ、日本両国の実業界で高い評価を得てきた。「退職するまでベストをつくし、後輩に託した後も、できるかたちでドイツの心を伝えていきたい」と。子供さん3人を育て上げ、お孫さん3人にも恵まれる笑顔の美しい女性。

★吉田泰巳さんが兵庫県いけばな協会会長に

嵯峨御流神戸所長の吉田泰巳さんが1月13日付で就任。同協会は現在63流派7千人の組織。各種展覧会、社会事業などを行っている。兵庫県は広いが、県

内全域に活動を広げ、人の交流を図り、県としての文化の醸成を推し進めたい」と語る。また、「若い層の人数が物理的に減っていく中、いけばなもここ4、5年で蓄積がないと、趣味の多様化もあり生き残ってい



吉田泰巳さん

けない」と。協会の活動に更なる厚みをと、横の組織としての「兵庫県いけばな芸術振興会議」(仮称)の発足も計画中で、「情報交換、問題の掘り起こしを進めたい」と吉田さん。

★浅川誠二選手が地元で世界タイトルに挑む

神戸拳斗会所属の神戸っ子ボクサー浅川誠二選手が3月19日、ワールド記念ホールでWBAフエザイ級チャンピオン、ベネズエラのエロイ・ロハス選手に挑む。



浅川誠二さん

二度目となる世界タイトル戦。92年の朴永均戦ではKO負けを喫した。その時のくやしさをバネに、あえて敗戦の地韓国に武者修業

に出かけ厳しい練習をこなしてきた。「技術的にはひどい攻撃が得意になった。精神面でも一皮も二皮も剥けたと思う」とその成果を強調する。

「とにかく試合を見て欲しい」との言葉に闘志がほとばしる。「地元神戸での世界戦が夢でした」と語る浅川選手は健闘を祈りたい。

★「私の空間」をテーマに描き続ける前田美枝さんの第39回神戸二紀展の受賞式が2月10日、生田神社会館で行われ、「アジア・アセアン賞」には二紀会同人の前田美枝さんが輝いた。会社勤めをしながら絵の勉強を始め、自分の絵の傾向の可能性を求めて二紀会同人に。



前田美枝さん

「私の絵は構成の絵であり分割の絵です。心の中心に蓄積されたイメージを自分なりの形に画面に構築していきますが、心の宇宙の力やひろがりや表現できれぱと思います。観る人にも風や空気や水や太陽といった宇宙の根本の暖かさや冷たさを感じてもらえれば」と話す前田さん。副賞であるアジアへの美術研修を受け取り、どの国へ行くのかと真剣に迷っていた。



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん：川崎 真司くん（平成5年11月11日）

ママ：美香さん

「21世紀に向けてすくすくと元気に育ってくれる様に」

★ 佐本産科・婦人科 ★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

☎078-575-1024(病室☎078-576-9639)

市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●

美しい歯並びは、
お口の健康の大切なキーポイント



当院は、歯科矯正の専門医院です。

歯並びが悪いと、口元の美感を損なうだけでなく、虫歯や歯ぐきの病気にかかりやすくなったり、頭痛、肩こり、胃弱をひきおこす原因となることもあります。矯正治療は小中学生の頃に行うことが多いのですが、大人になってからでも治療は充分可能です。噛み合わせの一部分を治すだけでも、大変良い結果が得られる事が多々あります。これらのことが気になる方は、是非一度ご相談下さい。

◆診療時間

午前10時～12時30分
午後2時～6時30分

◆休診日

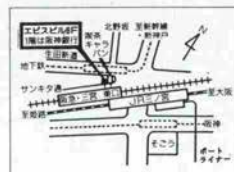
木曜・日曜・祝祭日

TEL・078-332-5735

神戸市中央区北長狭通1-2-2 エビスビル8F

〒650

(阪急三宮駅東口北側出口向い)



吉田矯正歯科クリニック

◆育成医療指定医療機関



市民の手で、神戸に プロサッカーチームを!

明治四十年一月、居留地の神戸レガッタア・ド・アスレチッククラブで、外国人同士のサッカー試合が行われた。日本でのサッカーの始まりだと言われている。それからおよそ百年後の今、サッカー発祥の地神戸で再び大きなムーブメントが起きようとしている。昨年十二月「オーレ! KOBE 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」が発足。目指せ! Jリーグ。市民の会のメンバーに熱い想いを語って頂いた。

★オーレ! KOBE 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会
座談会出席者(敬称略)

会長

皆木 吉泰 〆神戸市医師会 会長

副会長 河本 春男 〆株式会社 ユーハイム 会長

副会長、常任理事兼任

益子 和久 〆益子産婦人科 院長

常任理事、事務局長兼任

斎藤 紀之 〆フリーディレクター

常任理事

益子 秀久 〆三菱神戸病院 整形外科 科長

理事

植村 孝一 〆マック株式会社 代表取締役社長

理事

メリリアン 一色満子

〆神戸日本チリ協会 会長

〆ダコベルト・メリリヤン・ハラ夫人

理事

善本 光広 〆善本歯科医院 院長

運営会員

細谷 一郎 〆三菱重工業株式会社 大阪支社

〆地域開発プロジェクト部 営業担当課長

運営会員

吉田 耕治 〆株式会社吉田カメラ 代表取締役副社長

運営会員

井筒 久夫 〆いつ印刷有限公司 代表取締役

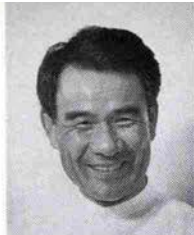
岡部

國雄 〆神戸市西部土木事務所

益子和 神戸にプロサッカーチームが欲しいと皆が思っていたのですが、なかなかできない。おそらく神戸であればいつかはできるだろうと考えている間にここまでできてしまいました(笑)。いまだに遅いかもしれないけれど、やはり市民活動的なものを繰り広げないと、でき上がらないんじゃないかということでの「神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」が発足しました。

皆木 もともとの発想は今ではもう亡くなりましたが、神戸フットボールクラブ(KFC)をつくられた加藤正信さんが、神戸にプロサッカーチームをつくらうと言われてましてね。ちょうど東京オリンピックの頃で、その当時はまだJリーグの発想もない頃でした。宮崎前市長も和田岬に子供のサッカーグラウンドをつくってくださるとおっしゃっていました。実現はしませんでした。宮崎前市長もそういうお考えでした。結局その当時は具体的に強くて看板となるようなチームはできませんでしたが、加藤さんはその当時からヨーロッパのスポーツクラブを理想とされていました。その点で神戸では随分前から種はまかれていたと言えます。

河本 さらに神戸のサッカー史をさかのぼりますと私は



▲植村孝一さん
長田高校、阪大サッカー部出身。東芝では社会人サッカーを。現在はマックエルフ所属。



▲益子秀久さん
神戸ドクターズ所属。神戸市サッカー協会の医事委員長。スポーツ医学でドイツに留学。



▲斎藤紀之さん
岡山市生まれ。高校時代は同県少年選抜のメンバーで国体に出場。



▲益子和久さん
灘高、神大医学部サッカー部出身。神戸市の医師のサッカーチーム神戸ドクターズ所属。



▲河本春男さん
東京高師サッカー部主将。神戸一中監督時代に全国優勝。神戸市サッカー協会会長。



▲皆木吉泰さん
神戸一中サッカー部で全国大会2回優勝。KFC役員。KFCベテランズのメンバー。



▲井筒久夫さん
KFC創設者の加藤正信氏を通して、サッカーとのつきあいが始まり、運営委員に。



▲岡部國雄さん
神戸つつしが丘ファミリーサッカー主宰。神戸市サッカー協会少年委員。



▲吉田耕治さん
甲南高校、大学サッカー部で主将を務める。県学生選抜メンバーOB会チームに所属。



▲細谷一郎さん
神戸高校、早稲田大学サッカー部出身。三菱（現浦和レッズ）時代には日本代表で活躍。



▲善本光広さん
サッカー歴は小学生時のみ。昨年のワールドカップ予戦を見て感動し、同会に入会した。



▲メリリヤンさん
夫妻で南米チリレストラン経営。ペレやマラドーナも来店。同会事務局は同店内にある。

学校を卒業してすぐに神戸一中に赴任したのですが、「神戸一中のサッカーを強くして欲しい」と言われて行きましてね。それで全国大会で優勝させてやろうと思ってね、盛んにやったわけ。そしたらなんとその年に全国大会で優勝したのです。昭和七年から十四年の七年間で、四回全国大会で優勝しました。その中からベルリンオリンピックへ何人か行ったりもしました。そんなことから、サッカー王国兵庫と言われるようになって、兵庫にサッカーが普及し、盛んになった。以来ずっと神戸のサッカーに関係しているのですが、私自身中学の時からサッカーをやって今日までサッカーとの関係が切れませんから、サッカー人間なのです。神戸にはサッカーの素地は充分にあるのですよ。ところが困ったことに強いチームがない。そこでなんとか神戸にプロのサッカーチームをつくらうとしているというわけです。

益子和 やはり誰かが中心になってやらないといけないということで、医者を中心とし、会長を皆木先生にお願いして、市民の会を発足させました。Ｊリーグの理念としては、プロサッカーチームを頂点に市民がいろんなスポーツをできるようなクラブ組織づくりがあるわけですが、できることなら我々医師が積極的にスポーツと健康を考え、将来を荷担う青少年に正しいスポーツのあり方を指導できるような施設をつくりたいのです。これは他都市ではない、神戸ならではのひとつのビジョンだと思います。十年、二十年経ってもその理念を追求してほしいということを市長にも話しておきました。ただ単にＪリーグチームをつくるだけで騒いでいるのではないということをご理解頂きたいと思います。

★サッカー少年に夢を

細谷 僕は日本リーグでサッカーをしていましたが、神戸では全日本代表も少ないですし、自分が神戸に帰ってきたのも何かの縁だし、ぜひ神戸で強いチームをつくりたいと思って市民の会に参加しました。自分を育ててくれた神戸ですが、少年サッカーの選手数は全国でもトッ

プクラスを誇っています。その子供達に夢を与えてあげたいのです。現状では、実際神戸でサッカーをやっている子も、県外に野球のように留学したりして流出しています。もし、神戸に魅力のあるチームがあれば、必ず神戸に残ってチームに入ってやっていくと思います。

岡部 私はずっと少年サッカーのお世話をしてきましたし、息子もサッカーをしていた関係で、永島選手や和田選手の神戸での活躍をよく知っています。

善本 今の子供達がサッカーがうまくなれば、プロになれる、そして神戸市民が応援してくれる頂点に立てるのだという希望があれば、とてもものびのびと楽しくプレーができ、もっと技術も上がるのではないのでしょうか。うまい選手が他へ出ていってしまうのはさびしいですよ。野球と違うところはホームタウン制ということですね。神戸で育った選手が神戸のチームで活躍する。神戸市民の応援でがんばった選手がワールドカップに出たりしたら、これほど嬉しいことはないのではないですか。

植村 僕はたまたまサッカーをしていましたが、今はも



右上／昨年12月5日に行われた発会式。左上／発会式の後、懇心会が開かれた。ラテン音楽を披露する、神戸日本チリ協会会長ダゴベルト・メリリヤン・ハラさん。下／オーレ／KOBE 220大作戦(街頭署名運動)の作戦会議風景。

うできません。もし神戸にプロサッカーチームができれば、自分がやれなかった夢をたくす人間もいるでしょう。サッカーが好きになって応援するだけでもいいし、自分自身がＪリーグで活躍してやろうとか、いろいろなうっているんじゃないですか。途中で断念せざるを得ない人間の方が多いと思うけど、それはそれががんばって新たな道を選んでいけるのだし、そんな人間がいていいと思いますよ。サッカーというのは世界でこれだけ人気のあるスポーツですからね。それにサッカーはチームプレイでしょう。確かにスタンプレイヤーも必要だけど、試合に勝つにはチームの輪がとれていての話だから、人間関係とかチームプレイとかスポーツマン精神とか、いろいろな面で勉強になりますよ。社会に出てからも僕達とはとても役立っていますもの。プロのサッカーチームができれば、目標ができるし、いいと思いますよ。神戸にはいくらでも人材がいるのだから、受け皿がないと他へ出ていくしかないわけです。それにグラランドなどもユニバ記念競技場や中央球技場など、神戸市は割と先行してつくってくれていますし、設備的にはとても恵まれているのですから、この機会にぜひ、みんなで受け皿をつくってあげたいですね。

皆木 神戸のグラランドの芝生は定評があつて、イギリスのチームが来た時なんかは国立競技場か神戸と指名したほどです。他は危ないと言つてね。それだけ良かったのです。技術は持っているのですよ。

★神戸のスポーツ文化の振興を

益子秀 どのような風なチームのつくり方をするのかが一番難しいですね。我々の目標とすれば、いわゆるヨーロッパ型のスポーツクラブです。私はドイツのケルンに三年間住んでいたのですが、ケルンでは市民のほとんどがスポーツクラブに入っていました。いくらかの安いお金を払うと加入できるのですが、サッカー、ハンドボール、ホッケー、バレーボールなど、様々なスポーツが楽しめるのです。さらにたとえばサッカーですと、Aから



2月20日(日)、市民の会の街頭署名運動、「オーレ/KOBE 220大作戦」が三宮センター街、元町商店街、JR住吉周辺、名谷・須磨・パティオ、西神中央・プレッティで行われた。目標、ボランティア動員220名、署名獲得数22000名分を大幅にクリアした。署名は3月末までに20万人分を集め、神戸市長へ提出する。

Kぐらいまで八つぐらいのチームに分かれていて、それぞれその人のレベルによってどこかのチームに所属します。その中でトップレベルの選手はアマチュアでもかまわないが、サッカーだけをやりたいという、サッカーのうまい人たちがプロになるのです。プロ野球のようなプロのサッカーチームをつくるのではなく、プロサッカーチームを頂点にして様々な市民スポーツが振興するようなクラブをつくりたいのです。

細谷 Jリーグチェアマンの川淵さんがおっしゃっているのは、その地域に密着してそのスポーツを文化として発展させて地域を活性化するということです。昨年一年間Jリーグは経済的効果ばかり、ビジネスとしてとらえられすぎていると僕ははずっと感じてきました。神戸ではビジネスももちろん大事ですが、要は十年、二十年という街づくりとしてとらえていきたい。市民が生涯スポーツとして参加でき、試合のある時は家族で応援する。試合のない時は家族でスポーツ施設へ行って、おねえち

やんは水泳をし、おにいちやんはサッカーをやっている、夫婦はテニスをしているとかね。みんなで汗をかい、夜、食事をして帰るといふうちに、家族、地域の社交クラブなわけです。男性だけがいく高級な会員制クラブというのではなくね。神戸ならできると思います。

植村 Jリーグの理念というのはすばらしいと思います。今までの日本だと会社だけのおつきあいが多いでしょう。それがスポーツによって地域ぐるみの新たなコミュニティをつくらうというのです。

斎藤 神戸市はスポーツ都市宣言をしていましたが、プロのサッカーチームを起爆剤として、市民スポーツを振興させていきたいですね。たとえばサッカーのトップチームのユニフォームのカラーがあれば、それと同じ色で、バレーボールもバスケットも体操もユニフォームをつくる。そういう神戸市全体の市民のスポーツのトップがプロのチームであるという考え方です。それと今、神戸の中にいろいろなスポーツ施設をつくっていますね。

市の中で土木、教育公社、下水道公社とばらばらに管理しています。これらをたとえば「財団法人神戸スポーツマンクラブ」のようなものを、トップのプロの収益と地元企業と神戸市でつくって、安いお金で市民がこういったスポーツ施設を使い、スポーツのできる環境をつくってもらいたいと思います。プロのチームをつくることによって、アマチュアのスポーツも振興させていきたいのです。

★市民参加のおらがチームを

細谷 今のJリーグ十二チームを見ていまして、日本リーグがもともと企業スポーツですから、そこから発展したJリーグのチームはほとんどメインの企業があるわけです。全く一からつくったのは清水エスパルスぐらいです。清水というところはもとサッカーの盛んな地盤があって、市民の持ち株が半分ぐらいをしめるという会社をつくっています。我々もそういった市民参加のチームをつくり、そして小学生から選手を育てていっ

て、神戸で育った選手が神戸のトップのプロチームに入るといふような形がいいですね。当面は外の力を借りないといけないでしょうが、ゆくゆくはできると思っています。

植村 初めからＪリーグで活躍できるチームというのはどこからよっぽどお金を集めないといけないでしょうけど、徐々に今の中学生ぐらいの子がＪリーグを目指してがんばって、二十歳を過ぎた頃にＪリーグの中でやれるぐらいが一番いいのだけど、母体となるチームは今年つくっておかないと間に合わないですから。

★署名に参加して大きなムーブメントを起こそう！

益子 和 我々の方針とすればチームが決まるか決まらないかで今後の方針が大きく変わりますが、現時点ではチームが決まるか決まらないかの瀬戸際だと思っています。

細谷 僕はサッカー協会の役員もしていますが、市民の会でチームまで決めるのは非常に難しいと思います。そこで、行政ができること、サッカー協会ができること、市民の会ができることを役割分担して進めていく必要があります。市民の会としては「みんな神戸のサッカーチームを応援しよう！」という大きなムーブメントをおこしていくことが大切です。おらがまちのチームをつくらうという流れをつくることですね。そしてチームができれば、もっといろいろにお手伝いすることができると思っています。

益子 我々としてはプロサッカーチームをつくってぜひＪリーグに入りたいと思っているわけです。まず、当然チームがあつて、出資金があつて、会社組織が成り立ちます。Ｊリーグに入ろうと思うと、法人化された、ちゃんとしたチームがあつて、その中にはプロのメンバーが二十人位いる、球技場がしっかりとしている、サポーター、応援などの運営がしっかりとしているといたすすべての条件が整った時点、または整うという予想のもとにＪリーグに入るための準加盟申請をするわけです。その

締め切りが今年の九月三十日です。準加盟申請が受けられてもいいなりＪリーグチームに入れないのですが、カップ戦といってトーナメントに入れてもらえます。そこでいい成績を残すことと、Ｊリーグの下のリグ、ＪＦＬ（ジャンパンフットボールリグ）にいるときも好成績を残すことがＪリーグに入るための条件なのです。現在、準加盟申請が認められているのが、柏レイソルとセレッソ大阪、参加表明したのが京都パープルサンガとＰＪＭフューチャーズです。今年よりＪリーグはジュビロ磐田とベルマーレ平塚が昇格して十二チームになります。Ｊリーグは当面十六チームまで増やす予定なので、あと残りの枠は四チームですが、現状の準加盟二チーム（柏、大阪）が順当に昇格するとすれば、残り二つの席を争うことになります。今年九月までに準加盟申請をするためには一刻も早くチームを決定し、六月には法人化しなければならぬというのが現状です。そこで市民の会としては今は署名作戦に燃えています。私も署名をした！僕もした！ということで市民の間でひとつのムーブメントを起こしていきたいと思っています。

斎藤 二月二〇日には「オールＫＯＢＥ 220大作戦」を行います。ボランティア参加人員二二〇名、署名数二万二千を目標に市内五カ所で、みんな街頭に立とうということになっています。各地の商店街にもご協力頂いています。

吉田 私の立場とすれば、商店街（元町）を盛り上げて引っ張っていくことだと思います。商店街（元町）にとってメリットがあるとかということではなく、郷土愛しかないと思うのです。まず元町一番街という単位で結束していきたい。そして、元町全体、三宮、神戸市全体の商店街に広めていきたいですね。商店街同士が、神戸のサッカーチームを応援するという一つの目的を持っていく、いい機会ではないかと思っています。

益子 和 市民の会は企業中心に片寄らないために企業の協賛もほとんど頂いていません。会員の方から一人千円

の年会費を頂いているのと、わずかな賛同金を頂いているのとで運営しています。全国にいろいろな市民の会があります、運営費を市やどこかの企業が出している場合がほとんどです。我々のように市民の会費によって運営しているところはほとんどありません。会則まであるのですよ。署名は今まで市民が集めたものにさらに我々市民の会で集めたものをプラスし、なんらかの形で神戸市にアピールしていきたいと思っています。

★神戸の熱いサッカーファンたち

メリリヤン 私の主人は南米のチリ人なので、サッカーがもう大好きでして、ラテンレストランをしていますので、サッカーの試合があった時にベレやベッケンバウアー、マラドーナなどを招待し、とても楽しいひとときを過ごしたりして、私もすっかりサッカーファンになりました。子供もサッカーをしていますし、私の父も九十歳なのですが、サッカーが大好きで、この市民の会に入っています。神戸にチームができて、一日でも早く応援したいというのが父の夢で、私も少しでもお手伝いできた



南米チリレストラン「گران・ミカエラ・イ・ダコ」を訪れた、サッカーの神様、ベレ(1976年)。左端の帽子をかぶった人がダゴベルトさん。現在、同店内に「オーレ／KOBÉ 神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」の事務局があり、市民の会のビッグウェイブをおこなっている。

らいいのになと思っています。昨年の十二月には主人と斎藤君でバラグアイまで南米サッカー協会会長に会いに行ってきました。「神戸にもあれだけいいグラウンドがあるのだから、できることがあれば応援しますよ」と言ってくれました。

井筒 私は亡くなられた加藤さんとPTAの会長をされていた頃からのつきあい、少年サッカーの普及の為に中国友好訪問にも連れて行ってくださいましたし、加藤さんの情熱でサッカーが好きになりました。「わしの目の黒いうちにプロサッカーチームができるやろか」という言葉が今でも耳に残っています。Jリーグができた時に「加藤さんがいたら良かったのに」と思いました。無駄かもしれないが、やるだけやってみたら、少しでも加藤さんのためになるのではと思っています。

岡部 私も少年サッカーをお世話していて、子供達が一生懸命するので、彼らのためにもぜひ協力したいです。

善本 僕はサッカーをしていたのは小学校の時だけだったのですが、この市民の会に入って、皆さん今までサッカーが人生だという人ばかりでその情熱に圧倒されたのですが、入った以上は皆さんに負けられないよう、がんばって仕事をしていきたいですね。

斎藤 私も第二のふるさと神戸で、大好きな神戸のためにお手伝いがしたいのです。

益子秀 家内も三人の子供達もJリーグで他のチームを応援していますが、私はどこも応援していません。よそのチームを応援しても仕方がない。心から応援できるチームはやはり地元神戸のチームしかない。その日が一日でも早く来るようがんばりたいと思います。

(二月十三日神戸市北野地域福祉センターにて)

■オーレ／KOBÉに入会ご希望の方、署名活動に協力してみようという方は左記までお問い合わせください。

神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会・事務局
神戸市中央区中山手通二一七一

電話 (078) 242-5511

モダン寺の破壊を見て

武田 則明△建築家▽

浄土真宗は親鸞により鎌倉時代に開かれた。

天台宗や真言宗や禅宗の様に貴族や武家社会に信徒を持つよりも、広く庶民の支持を得た。信長と最後まで戦った一向一揆は時の権力に対する門徒農民の壮絶な戦いであり、革命であったと思う。権力の弾圧に生き残り、今日まで浄土真宗が生き残ったのは日本固有の土着信仰である神道の中に生きている祖先崇拜が家族制度の確立とともに仏教に取り込まれて行ったことと、宗門自体が支配権力へすり寄って行ったことが上げられよう。

人間は不完全な存在である。間違いだらけである。この意味で宗教団体も間違ふことがあつてあたりまえであろう。自分の信じているものは絶対であり、その宗教は絶対であり、それを信じない者は地獄に落ちるとの考えは間違っている。証拠に人間の平和と幸福を願う宗教対立が醜い戦争をしている。一番弱い老人や子供が傷ついている。信ずるものは絶対でも良

いが、それを信じる人間集団は絶対ではなく、間違いを繰返すという謙虚な精神が必要だと思う。謙虚さこそが人間の悩をいやし、やさしさを育むものだと思う。戦争をしている人間はやさしさも謙虚さも欠ける傲慢な人間だと思う。

浄土真宗は明治八年に文明開化の神戸、山本通りに説教所を作った。これは後に別院となった。本堂の屋根は日本瓦葺入母家造りの寺院のつくりで軒から下がギリシヤオーダーの異形の建築であった。まさに和魂洋才を地で行くスタイルであった。神戸開港とともに欧米の文化、芸術、宗教が上陸して来た。一方明治国家は国家神道を確立し排仏毀釈の嵐が吹き荒れていた。こんな時に新取の精神



破壊されたモダン寺

で新しい時代の仏教を代表していた。この寺、光尊寺は昭和六三年保存運動もむなしく壊された。モダン寺(別格別院善福寺)は昭和四年に竣工した。五つの塔には蓮の花を模した相輪がかかげられ、その屋根には光背のある立体像が数多く乗っていた。正面には西本願寺の紋がステンドグラスで出来ていた。全体の様式はインドでも中国でもなく、まさに異形の建築と云えた。光尊寺が明治維新の時に欧米の文明に追い付くことが国家の目標であった。モダン寺の建設時は日本が日清、日露、第一次大戦の戦勝国となり、欧米列強国の一員となった時であり、いつまでも欧米の模倣では笑われると考え、我が国固有の建築はいかにあるべきやと模索された時代であった。この固有性やらしさの追求は極端に走ると国粹主義に繋がっているものである。固有性を追求したボストモダニズムが、ネオナチや、極右勢力をロシアや独、イタリアに生んだごとくである。まさに日本の歴史もその様に流れて行った。二つの時代を表現するエポックな建物を宗門は破壊した。太平洋戦争中、国家の先棒をかついで国民を戦場へと送った責任を、あるいは国粹主義に走った証人としてのモダン寺本堂を抹殺してしまいたかったのだから。



BEFORE

いつまでも
若く美しく



AFTER

★わずか2時間の10歳若返り法

誰でも年をとると、シワやタルミが気になります。なかでも、顔全体の皮膚のタルミ、年を感じさせる目の周りのシワは、老けた印象を与える原因になります。でも、こんな悩みも画期的な「若返り法」の手術で安全に解決。顔全体に張りをもたせることで5～10歳も若返ります。また、目の周り、特に気になる目の下のシワやタルミも安全な方法で取り除きます。厚ぼったいまぶたも、二重瞼にしてスッキリ。ホクロやシミも解消致します。
◇若返り法60万円、目の下のタルミ取り20万円、二重術12万円、コラーゲン注入1回4万円～。

★たれたバストも

バストが下がってきて、若々しさがなくなってきたという方は「バストアップ法」で形を整えます。
乳輪・乳頭の縮小も一緒にできます
◇バストアップ法60万円。

※表示金額以外、費用は一切かかりません。

PRESENT

美容整形に関する最新情報を掲載した本「スーパー美容術のすべて一美しさ自由自在」(品川美容外科監修)を抽選でプレゼント。ご希望の方はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて下記の宛先までお送り下さい。

〒108 東京都港区港南2-6-3 新富ビル3F
ビューティークラブ「スーパー美容術のすべて」
プレゼント 神戸っ子係まで

24時間無料テープ案内

0120-006477

品川美容外科形成外科

078(331)7183<女性>

078(331)4102<男性>

診療時間/AM10:00~PM7:00(年中無休)

※各種クレジットカード・ローン可

大阪 06(312)1420<女性> 京都 075(344)3386<女性>



神戸市中央区三宮町
1-3-3 小林ビル6F
小針ビル向かい

新しい門出にお二人の感謝の心を
この銘菓に託して



丹念に焼き上げた伝統的洋菓子に
ありがとうの願いを込め

“スイートカップル”

¥ 1500



株式
会社

北 欧 の 銘 菓
2-HEIM・コンフェクト

本 社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2
TEL.(078)974-9756 FAX(078)974-9758
大阪営業所 〒558 大阪市住吉区阿田町7丁目12-19
TEL.(06)697-9435 FAX(06)697-4188

東京・名古屋・大阪・神戸



4th Kobecco

・第四回 神戸っ子賞選考座談会 都市経営に 拔群のセンス 宮崎辰雄に

★福祉行政に信念

D この神戸っ子賞で考えるとこの、地元出身者で、全国的に、インターナショナルに影響を広げた人という面からみても、本当に様々な人材がいますね。

C 宮崎辰雄なども、そういう意味合いから、都市経営で発揮した発想、手腕というものは、影響が正に全国的、そして国際的に大変高い評価がありますね。

B 事業展開の仕方が、民間の経営を上回る優れたアイデアである、都市の経営の手本だと。

A 福祉行政についても、はっきりした信念の下、市政の最重要施策の一つと位置づけ、「福祉都市づくり」を推し進めました。

C そういった中で生まれた「しあわせの村」も、福祉都市・神戸の象徴の一つ。総合福祉ゾーンとして、その規模、施設の多彩さは一つの都市とも言えるものですね。

● 選 考 委 員 ●



小泉 康夫
〈月刊神戸っ子
代表取締役社長〉



石阪 春生さん
〈画家〉



小笠原 暁さん
〈芦屋大学教授〉



米花 稔さん
〈福山大学教授〉

D 都市経営成功を賛える声と同時に、時に「儲け主義」との批判の声もあることを承知し、そういった批判に対しては、都市経営による市民福祉の具体的実現によって応えているという自負があった。

★文化勲章の東山魁夷

B 東山魁夷も神戸ですね。二中です。小磯良平より先に、60歳で文化勲章も受けましたね。ところが神戸が遠慮しているのかどうか、対応できていない、アピールが少ないですね。小学校、中学校が神戸だというのは大きいですよ。神戸の風土が画風に見られますね。

A これまでの受賞者、淀川長治、朝比奈隆、陳舜臣、それぞれ正に神戸の雰囲気を持っていますね。

C 画家ではないが、昨年度の文化活動功労賞を受けた元町画廊の佐藤廉、長年に亘る新人発掘、育成の功績は実に大きい。本当に多くの素晴らしいアーティスト達を

サポートしてきた。

D 芸術の分野で言えば、小原豊雲の業績はしっかりしたものの、組織力が大したものですね。

C 成瀬香梅、西村雲華なども小原流から出て活躍しています。

D 女性の名前が出たところで言うと、田中千代。フアッションの世界でも一番早い時代からの活躍です。

A 今の皇太后さんの服をずっとやっていました。

C ヴァイオリンの辻久子、今県の教育委員も務めています。

D 書では望月美佐が活躍していますね。

★圧倒的な中内切の存在

B 文学で言えば、昨年絶筆宣言をした筒井康隆がいますね。

A 野坂昭如もいる。『火垂るの墓』も神戸を舞台にした実体験を描いたものですね。

C 芸能界で言うと、桂米朝。立派なCDの全集を出した。あれは随分大きな仕事だと思いますね。

A 高島忠夫妻の雰囲気、あれも神戸のものでしようね。

C 宝塚出身は多く活躍していますが、鳳蘭は大したもの、華があつて実がいいですね。

D ちよつと違った分野ですが、

吉兆の湯木貞一も神戸、花隈の出身ですよ。従来の日本料理にハイカラさをうまく取り入れた。日本料理の為に陶芸館を作つて、和食器を収集したりもしています。

B 外国人では、教会音楽、食文化などに造詣の深い神父、ジャン・メ

ルオー。外国人クラブ理事長のP・A・カンパネラなどもいますね。

C コスモポリタンのバレンタイン・F・モロゾフ夫妻も元氣でがんばっている。

B 実業界では、やはり中内切の名前が出ますね。三中ですね。

C 石野信一も三中、宮崎辰雄と同期です。

A 神戸はやはり文化人が多いんですね。財界人は大阪などに比べると少ない。地域差はあるんですね。

B 神戸はオーナー社長が少ない酒屋さんにはたくさんいる。

A 伝統産業にはいるが、近代産業には少ないですね。

D まあ、これからでしょうか。

C 田崎俊作が企業メセナをよくやっています。

A 明治の初め、人口わずか2万5千であった神戸が、実に多士済々に人材を出してきている。たのしいですし、益々楽しみです。

C スポーツ界もたのしいもんです。神戸製鋼ラグビー部が今年も勝つて6年連続日本一。オリックスもがんばってもらわないと色々な分野で多くの候補が出ましたが、今年は宮崎辰雄ということになりますね。機も熟しました。

A そうですね。全員一致で賛成。

△文中敬称略▽

■歴代受賞者

1. 淀川長治/映画評論家
2. 朝比奈隆/指揮者
3. 陳舜臣/作家



著書の数々